

平成 31 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅲ類	I類 A事業所のみを有する特定事業者
	II類 B事業所を有する特定事業者(Ⅲ類の事業者を除く)
	III類 C事業所を有する特定事業者
	IV類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	国分グループ本社株式会社・株式会社マルエツフレッシュフーズ	
所在地	東京都中央区日本橋1-1-1・東京都豊島区東池袋5-51-12	
事業者番号	0522	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	3,691	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000㎡以上の事業所)		㎡
産業分類名 (中分類)	食料品製造業	
分類番号 (中分類)	09	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	<p>【国分グループ本社株式会社】</p> <p>■事業内容：酒類・食品・関連消費財にわたる卸売業及び流通加工、配送業務、貿易業、不動産賃貸借業ほか</p> <p>■従業員数：5,257名(連結)(2018年12月)</p> <p>■資本金：35億円</p> <p>【株式会社マルエツフレッシュフーズ】</p> <p>■事業内容：生鮮加工センターにおける食料品の仕入、製造、加工及び販売</p> <p>■従業員数：852名(2019年2月)</p> <p>■資本金：5,000万円</p>	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
B、C事業所			
C	052201	国分・マルエツ 三郷流通センター	3,691
合計			3,691

(4) 公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	http://www.kokubu.co.jp/ https://www.maruetu.co.jp/
	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	国分グループ本社(株)経営企画部	03-3276-4121	03-3273-7305	
2	(株)マルエツ 環境活動推進部	03-3590-1210	03-3590-2683	
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

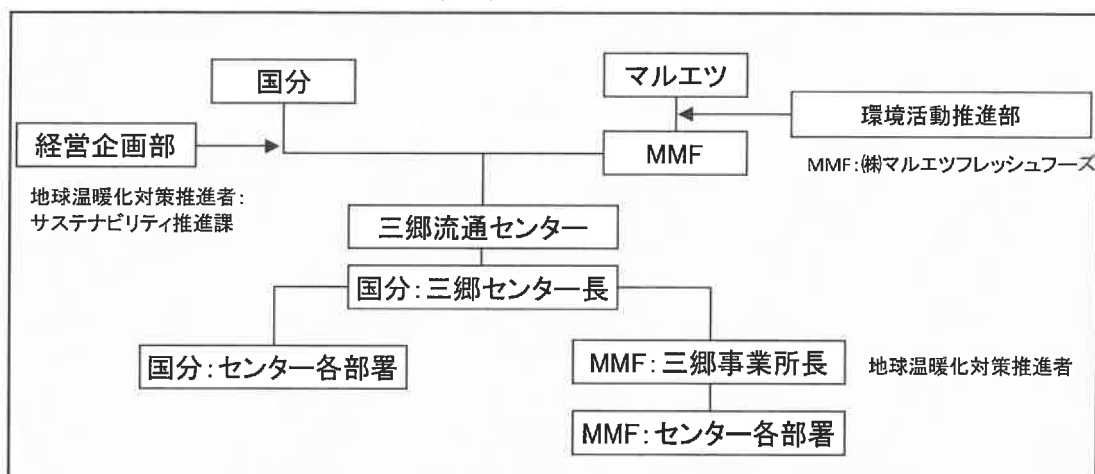
【三郷流通センター】
 国分グループ、マルエツグループの両者の基本方針に則り、協力して地球温暖化対策を推進いたします。

*各社の環境基本方針

【国分株式会社】
 国分グループの環境基本方針に従って行動します。
 詳細：別紙参照（環境方針2017.1.1制定）

【株式会社マルエツフレッシュフーズ】
 マルエツグループの環境基本方針に従って行動します。
 詳細：別紙参照（マルエツグループ会社案内2019, p18）

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO ₂	7,090	7,320	7,214	7,226	
その他ガス					
温室効果ガスの合計	7,090	7,320	7,214	7,226	

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 31 年度

事業者番号	0522	事業所番号	052201
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	国分・マルエツ 三郷流通センター		
事業所所在地	市区町村	三郷市	
	字・地番	インター南1-3-1	
産業分類名(中分類)	食料品製造業		
分類番号(中分類)	09		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	■事業内容:①酒類・飲食料品のドライ・冷凍冷蔵倉庫(配送拠点)②生鮮加工センターにおける食料品の仕入、製造、加工及び販売 ■従業員数:600名(パート・アルバイト含む)	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	28	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量 ○○t-CO ₂ /年に対して、7.4%削減します。			
	その他ガス				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)		t-CO ₂	事業所区分 第2区分	
	削減目標量(計画期間合計)		t-CO ₂		

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	~		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	3,577	3,739	3,684	3,691	

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		7,090	7,320	7,214	7,226	
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		7,090	7,320	7,214	7,226	

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				1.2738	1.2632	1.2092		
活動規模の指標	○	生産量	万パック数	5,566	5,795	5,966		
		出荷額	億円/年	261	275	327		

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量		t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証未実施	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

28	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量(A)							
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)		6.0%	6.0%	6.0%	6.0%		
	排出上限量 ($C = \sum A - D$)							
	排出削減目標量 ($D = \sum (A \times B)$)							
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)		7,320	7,214	7,226		21,760	
	排出削減量 ($F = A - E$)							
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分		対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	安全衛生会議(月1回)、省エネ対策会議(年4回)を開催	H26以前	1
2	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	設備の保守管理契約を専門業者と締結し、適切な保守管理を実施	H26以前	1
3	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	冷凍冷蔵エリアの温度計測・記録の実施	H26以前	1
4	490100	その他	49_排出量取引	森林クレジットの購入計画の検討	H28年度	10
5	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	事務所エリアの夏期28℃、冬季20℃に設定	H26以前	1
6	140300	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_冷凍冷蔵設備及びちゅう房設備の管理	冷凍倉庫の開閉扉にかかる運用ルール徹底	H26以前	1
7	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	未使用エリアの照明電源OFFの徹底	H26以前	1
8	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	退社時におけるOA機器の主電源OFFの徹底(待機電力削減)	H26以前	1
9	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	管理台帳を作成し、エネルギー使用量の推移を把握している	H27年度	1
10	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	管理標準による設備単位のエネルギー管理を実施する	H27年度	1
11	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房設定温度を実温管理とする	H27年度	1
12	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備のフィルター清掃、室外機の洗浄を定期的実施する	H26以前	1
13	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ガスヒートポンプの運転管理規定の見直し	H27年度	1
14	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサーの定期点検の実施し、エア漏れを防ぐ	H27年度	1
15	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯設備のLED照明への転換	H29年度	1

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

Free description area for self-evaluation of measures implemented by the business operator.

環境理念



「人と社会に調和する商い」

～私たちは食を通じてこころ豊かな暮らしをお届けし、地球環境に配慮した商いをいたします～

環境方針

環境方針

1 地球からの恵みを大切に、持続可能な社会の実現を目指します

- ①地球環境の汚染防止・負荷低減につとめます。
- ②食品のロス削減を目指します。
- ③環境に優しい備品・資材の利用を推進いたします。
- ④廃棄物の適正処理を徹底いたします。
- ⑤3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進いたします。

2 事業活動における省エネルギーを推進し、温室効果ガスの排出抑制につとめます

- ①物流に関わる省エネルギーを推進いたします。
- ②オフィス・物流施設・工場・店舗での省エネルギーを推進いたします。
- ③フロン類の適正管理をいたします。

3 環境コミュニケーションに積極的に取り組みます

- ①社会とのコミュニケーションや環境情報の開示につとめます。
- ②環境活動を通じて、企業価値向上を目指します。

4 社員一人ひとりが環境に配慮した行動をいたします

- ①環境に関する情報をグループ全体で共有し、社員自ら知識を高めます。
- ②環境マインド(Eco-ゴコロ)を醸成し、高いレベルの行動とより信頼される商いをおこないます。

5 環境管理体制を構築し、法令やルールを遵守いたします

- ①国分グループの環境管理体制を整えます。
- ②法令の理解を高めるための社員教育や啓蒙活動をおこないます。

2017年1月1日 制定 国分 勳兵衛
代表取締役会長兼社長 CEO

地域に根ざした社会貢献や環境保護活動に積極的に取り組んでいます

お客様に笑顔になっていただくための商品の多くは、豊かな自然が育んでくれるもの。私たちは、お客様のため、地域のため、そして地球環境を守るために様々な取り組みを続けています。

マルエツ環境方針

マルエツは地域に密着したスーパーマーケットとして、安全で安心な商品やサービスの提供とともに持続可能な循環型社会を目指し、お客様と共に環境保全活動や地域環境活動への支援を推進します。

1. 当社の事業活動に伴う環境負荷を最小限にするために、環境目標の設定・推進を含め、環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。
 - ① 電気使用量削減等の省エネルギー・省資源を推進します。
 - ② 最終的な廃棄物を削減するために3R[リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)]を推進します。
 - ③ 地球温暖化防止のため、1店舗あたりのCO₂排出量を削減します。
 - ④ 環境に配慮した商品の普及に取り組めます。
2. 環境保護のため汚染の予防や生態系の保護に努めるとともに、環境に関する運用可能な法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組めます。
4. この方針を社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。

株式会社マルエツ
代表取締役社長
古瀬 良多

「ISO14001」の取り組みを推進

当社では、環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格である「ISO14001」(あいえすおーいーちよんよんせんいち)の認証を、2006年9月に本社及び5店舗において取得し、現在の認証事業所数は、290事業所(本社含む)となっています。

この「ISO14001」のEMSに則り、マルエツの業務において特に環境影響の大きい、電気使用量の削減、レジ袋減速率の向上を2019年度思い、今度も取り組んでまいります。

「ISO14001」で実施している、環境及び事業活動に有益な環境目標

項目	18年度比
2019年度目標	
電気使用量の削減	1.0%削減
レジ袋減速率の向上	1.0%アップ



「マルエツの森」森林保全ボランティア活動

2010年より、温室効果ガス削減の施策のひとつとして「武蔵野の森再生事業」に参加しています。これは、埼玉県が森林・保全事業として新設した事業で、病害虫の被害が発生した平地や丘陵地のスギ林を対象として、スギを伐採し、地域やボランティアの方々と協働で落葉広葉樹を植栽することにより、武蔵野の雑木林を再生する取り組みです。埼玉県日高市横手にある林地を「マルエツの森」の愛称で呼び、2010年4月に山際、かえで、くぬぎ等を従業員の手により植樹、その後も保全活動として、毎年従業員ボランティアが下山川沿いを実施しています。



「カーボン・オフセット」の取り組み

「カーボン・オフセット」とは、事業活動で排出されるCO₂等の温室効果ガスの削減努力を行った上で、削減が難しい排出量については森林保全等によってCO₂を吸収する事業からクレジット(吸収量)を購入し、オフセット(埋め合わせ)する考えです。

当社では、お客様の協力のもと、レジ袋の削減に取り組む「お買い得持参運動」を展開していますが、さらに一歩進んだ施策として、2014年よりレジ袋製造の際に排出されるCO₂を、被災3県(岩手県、宮城県登米市、福島県喜多方市)の森林保全活動によって吸収されるCO₂のクレジットを購入してオフセットしています(2018年度は170t+CO₂)。その購入費用は、お客様の協力によって店頭

回収された紙パックやペットボトルの売却益を活用しています。お客様とともに、地球温暖化防止につながる環境活動を推進し、被災地域の環境保全活動、地域活性化を支援するしくみとなっています。

これらの取り組みが評価され、2015年には、「第5回カーボン・オフセット大賞(奨励賞)」を、さらに2015年度、2017年度、2018年度に「東北地域カーボン・オフセットランブリ」支援賞」を受賞しました。



【東北地域カーボン・オフセットランブリ】表彰式(2019年2月14日)

「カーボン・オフセット」って何?

「カーボン・オフセット」とは、企業等が自ら排出する温室効果ガスのうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)することをいいます。

